「常総ふれあいの杜」広報誌№55 2023年夏号（季刊）

ふれあい通信

社会福祉法人
日本キングス・ガーデン

常総広域障害者支援施設
『常総ふれあいの杜』
常総市大生郷町1880番地
Tel0297−27−5016
Fax0297−27−5045
www.kings-garden.or.jp
発行責任者藤原裕也
編集員広報委員会

光を選んで……

施設長　藤原裕也

暑い暑い夏が、いつまでも続くように感じていましたが、ふと気付くと日が短くなり秋の虫の声が聞こえています。

その間も感染症は弱る事なく現在は第九波に入りました。ふれあいの杜は、年頭に第八波のクラスターを防ぎきれずご心配をおかけしましたが、ドクターの協力により、何とか重症化を防ぐことができ、ワクチンの接種も続けて実施の予定です。

そんな中、感染対策に留意しながら久しぶりの全体イベント「サマーフェスティバル」を開催しました。ご利用者の創作したキャラクターのショートムービーと恒例の海賊ジャックとサンタの演劇を行いました。

「心の中の光を選ぼう！」と、いうテーマのドタバタコメディでしたが、ご利用者も職員も笑顔、笑顔で……互いに寄りそう姿、踊りだす方、主役を食ってしまう方など……本当に、楽しい時間を過ごすことができました。ホームページでその様子を見ていただくことができます。

感染症に精一杯気を付けながらこれからも一つずつ楽しい行事を実施していきたいと考えています。今後とも皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

サマーフェスティバル？

松浦恭佑

猛暑なので今年も屋内開催です。今回は、ファンタジーのような世界観。一風変わった内容です。飾りや道具も異世界のイメージで、それっぽい感じに。イベントは二部構成。皆で劇を楽しむ第一部、怪物に扮した職員にボールを投げて退治する第二部となりました。

劇は去年の続きで三回目。登場人物も定番となり、皆の反応も上々です。もはやサンタクロースが夏に登場しても、不思議に思う人はいない様子。ご利用者の飛び入り参加も毎度の展開、職員のアドリブ力が試されます。ハプニングばかりですが、それも含めて皆楽しんでいました。

第一部が終わり怪物（職員）がユニットに足を踏み入れると待ち構えていたご利用者達から一斉攻撃が！たじろぐ怪物にノリノリのご利用者。力いっぱいボールを投げて、ストレス解消になったようです。

夏祭りらしくないけど、ふれあいの杜らしい奇妙な祭りは意外と好評にて幕を閉じました。

今後も面白い企画を実施したいですね。

編集後記✍／今回はサマーフェスティバル特集号です。職員の手づくりの劇を、ご利用者も笑顔で盛り上がりました。

サンタとジャック

藤田朋和

ふれあい劇団のサンタとジャック船長との戦い。サンタのプレゼントを奪おうと手下を連れてサンタの後を追いかけます。

でも、サンタとジャック船長の間にはすでに、友情が芽生えています。サンタの広くて優しい心が、ジャックにも響いているからです。

今後どんな展開のお話になるのか、楽しみにしてください。

サマフェス　かしさくら

小林阿佐美

多目的ホールは、冒険の世界に様変わり。大きなモニターでは物語の序章が映し出されています。

待っている間に、普段めったに表情を見せないK様が、満面の笑みでいた事にビックリ。

そして楽しい劇が始まると、ご利用者も飛び入り参加して劇は大盛り上がり。

ユニットに戻ると、アイスやお菓子を食べて、皆さんにっこり。

また楽しい夏の思い出が増えました。

サマフェス　ふじもくせい

瀬崎直人

今年もやって来てくれた、海賊ジャックとサンタさん。会場も、南の島の冒険風で、海賊やドラゴンが登場する臨場感溢れる冒険劇に、歌って踊ってご利用者も参加され大盛り上がりでした。

ユニットに戻ってからもお楽しみの一時は終わらず、ユニットにやってきたモンスターと記念写真をパシャリ、その後ハーゲンダッツのアイスとパシャリ。

非日常な出来事と涼しさを感じてもらえた納涼祭でしたね。

サマフェス　まつけやき

林芳道

年に一度の夏祭り！

ユニットに、夏祭り用の飾り付けをして、皆で夏の雰囲気を満喫‼

お昼ご飯にカツカレーを食べ、午後はアイスを、美味しく頬張りました。

夏の暑さも忘れる程に、皆で楽しいひと時を過ごせましたね！

デイサービス中世を再現

鈴木千恵

八月初頭から、ご利用者と職員が一緒に創作活動を開始！

当日に多目的室は、中世ヨーロッパに様変わり、作った剣や衣装で着飾って、気分や雰囲気も大盛り上がりでした。

新しいプール

皆川剛

大きい、大きすぎる。人の目線ほどの高さのすべり台、泳げる広さの空間、水も三か所から噴出している。

見ただけでも楽しいと伝わってくるプールで、猛暑の夏でも涼を感じることが出来ました。

夏の楽しみと期待

磯部隆博

夏の日差しが窓から差し込む中、コロナ禍で自由に外出できない日々が続いていますがユニット内で季節を感じるために、壁に夏の飾り付けをして楽しんでいます。ご利用者の皆さんと一緒に飾りつけをすることは、楽しい時間と爽やかな夏の雰囲気をもたらしています。

コロナ禍の活動制限が徐々に緩和され、面会やドライブ外出ができるようになりつつあります。これからますます外出が増え、風を感じることができるのは嬉しいことです。

帰省できる日が待ち遠しいですね。

夏の楽しみが戻ってくることを願っています。

また、デイサービスの今年新登場！の、大きな大きなプールも、暑い日々に大活躍。賑やかな声が楽しそうでした。（岡田）